

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

8月下旬、第10回目の開催となる大学女子ソフトボール白馬大会に事務局の立場と審判員として参加する。大学女子の日本一を決め

る「全日本大学女子ソフトボール選手権(インカレ)」が石川県金沢市で8月31日から9月4日の日程で、32チームが熱い戦いをする前哨戦として位置づけられた。平日開催で特に審判員確保は毎年の課題となっている。今年も新潟県と南信・北信の審判員と中信地区から多くの審判員がジャッジに協力を頂いた。日当は2500円程度で昼食と飲み物持参。遠方の参加者の宿泊費、交通費、大学監督との交流会参加費は全額本人負担の過酷な条件にも関わらず協力頂いた皆さんに感謝し

かない。酷暑の中1試合100分の試合時間をこなす激務で、体調を崩す者が出たが、「来年も協力するよ」との言葉を掛けて帰路につく審判員に、本場にソフトボールが好きなのだと痛感する。

来た。来年も参加しますよ」との一言は本当にうれしかった。レギュラーを目指す選手、課題を克服しようとする選手の青春のコマを多く目にする。早朝に宿の駐車場で同僚選手と会話もせず

て、白馬に再び訪れてみたいと思わせる大切なステージになってほしいと願ってしまう。準備を含めて10日間、本場に過酷で最終日は疲れて夕食も取れずに床に就く。翌日、

## 身近に開催されるレベルの高い催しに興味を抱き地域の魅力を再発見する事が大切だ

野平Eコート主任として多くの大学監督と選手達と交流する機会があった。初めて参加した監督から帰り際、「予想を超える、経験をする事が出来たし、多くの監督から人を育てる考えを学ぶ事が出来た。来年も参加したい」と思わせる大切なステージになってほしいと願ってしまう。準備を含めて10日間、本場に過酷で最終日は疲れて夕食も取れずに床に就く。翌日、

が、内容の良さは驚くばかりだ。音楽も観光資源の大事な要素だ。この場所にグランドピアノが常設されていたら更にクオリティが高まる事だろう。疲れ



松本大学が前日からコート整備に協力、このメンバーの中に長野県出身者がいない事に驚かされる

た心身を癒やしたコンサートに感謝しかない。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)